

※劇薬

アンナカ「ヨシダ」

日本薬局方

安息香酸ナトリウムカフェイン

Caffeine and Sodium Benzoate

貯法：密閉容器、室温保存
使用期限：ラベル等に記載

承認番号	(61AM)2707
薬価収載	1961年1月
販売開始	1961年1月
再評価結果	1998年3月

【組成・性状】

1. 組成

本剤1g中、日局安息香酸ナトリウムカフェイン1gを含む。

2. 製剤の性状

本剤は白色の粉末で、においはなく、味はわずかに苦い。
本剤は水に溶けやすく、酢酸(100)又は無水酢酸にやや溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

【効能・効果】

ねむけ、倦怠感、血管拡張性及び脳圧亢進性頭痛(片頭痛、高血圧性頭痛、カフェイン禁断性頭痛など)

【用法・用量】

安息香酸ナトリウムカフェインとして、通常成人1回0.1~0.6gを1日2~3回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1)胃潰瘍又はその既往歴のある患者〔胃液分泌を促進するため、悪影響を及ぼすおそれがある。〕
- (2)心疾患のある患者〔徐脈又は頻脈を起こすことがある。〕
- (3)緑内障の患者〔症状が悪化するおそれがある。〕

2. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
キサンチン系薬剤 アミノフィリン ジプロフィリン テオフィリン等 中枢神経興奮薬	過度の中枢神経刺激作用が現れることがある。	併用薬の代謝・排泄を遅延させることがある。
MAO阻害剤	頻脈、血圧上昇等が現れることがある。	機序不明
シメチジン	過度の中枢神経刺激作用が現れることがある。	本剤の代謝・排泄を遅延させることがある。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
大量投与	振せん、頻脈、期外収縮、耳鳴、不眠、不穏等

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

5. 妊婦・産婦・授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳婦には、長期連用を避けること。〔カフェインは胎盤を通過し、また、母乳中に容易に移行する〕

6. 過量投与

徴候、症状：消化器症状(悪心・嘔吐等)、循環器症状(不整脈、血圧上昇等)、精神神経症状(痙攣、昏睡)、呼吸器症状(呼吸促進、呼吸麻痺等)などの増悪を起こすことがある。

処置：胃洗浄や吸着剤・下剤の投与により薬物を除去し、輸液等により排泄促進を行う。また、興奮状態には対症療法としてジアゼパム注、フェノバルビタール注などの中枢神経抑制薬投与を考慮し、呼吸管理を実施する。

【薬効薬理】

本剤の薬理作用は主としてカフェインに基づく。中枢において、大脳皮質に作用し感覚受容能及び精神機能をたかめ眠気を除去するほか、運動中枢や延髄の呼吸中枢を興奮させる。脳血管抵抗増大や脳血流量低下、またそれに伴う脳脊髄圧低下によると考えられる頭痛緩和作用がある。

【包装】

100g、500g

【主要文献】

- 1)日本公定書協会：第15改正 日本薬局方解説書 C-349 広川書店(2006)
- 2)上條一也 他：グッドマン・ギルマン薬理書(第4版)466 広川書店(1977)
- 3)栗秋要：薬の原理とその応用 140 中外医学社(1954)

【文献請求先】

吉田製薬株式会社 学術部
〒164-0011 東京都中野区中央5-1-10
TEL 03-3381-2004
FAX 03-3381-7728



製造販売元
吉田製薬株式会社
埼玉県狭山市南入曽951